

## 平成29年度 公務研究セミナーのご紹介

東京管区気象台では、平成29年度に行われた人事院が主催した以下の公務研究セミナーに参加しました。

平成29年9月19日(火) 専修大学

平成29年11月18日(土) 東京大学駒場キャンパス

平成29年11月25日(土) 名古屋大学東山キャンパス

平成30年2月13日(火) 東京工業大学(技術系区分対象)

平成30年2月16日(金) 一橋大学(事務系区分対象)

そのうち、平成29年11月18日(土)に東京大学駒場キャンパスで行われた東京地区第2回公務研究セミナーの様子をご紹介します！

当日は日中小雨が降る、11月としては肌寒い中で開催となりました。このような気象状況の中で参加者の出足が心配されましたが、予想を上回る多くの方にご参加いただきました。

説明は50分×3回行いました。気象庁の業務をより知っていただけるよう、また、自分が気象庁に入庁した場合に自分が働いている姿を想像しやすいよう考え、疑問点を解消する時間を含め50分の



説明する管理職の話に聴き入る参加者。満員御礼となりました

内訳を以下のように割り振りました。

**気象庁の任務、業務、組織や採用実績等の説明：約30分**

**若手職員の体験談：約10分**

**全体質疑応答、個別相談：約10分**

初めに、管区気象台の管理職が気象庁の任務や気象庁が行っている各種業務について、自身が経験した業務を含め幅広く概要を紹介しました。幅広い気象庁の業務全体を説明するため、広く浅くの説明になってしまいましたが、一般の方にもおなじみの天気予報の発表から、裏方として気象庁を支える事務職員の仕事まで、気象庁には様々な業務があることを知っていただけたのではないかと思います。

若手職員の体験談では、一般職大卒程度物理区分で入庁した職員が大学時代に専攻していた研究や気象庁に入庁しようと思ったきっかけをはじめ、気象庁に入庁してから体験した業務、その中で印象的だった業務、休業中から復職後の職場のサポート体制等について話しました。実際に働いてみての業務内容や職場の雰囲気など、実際に働いてみたことで感じられることを職員の生の言葉で聴けたことは、参加者にとって有意義だったのではないかと思います。



体験談を語る若手職員

質疑応答では「採用区分による業務の違い」や「気象庁職員として働くうえでのやりがい」など、様々な角度から質問がありました。参加者のみなさまが気象庁の業務や職業生活に興味を持っていることを肌で感じることができ、職員としてうれしく感じました。

平成30年度も同様に、平成31年度以降の国家公務員試験の受験を予定している方を対象に人事院が主催

する公務研究セミナーに参加する予定です。

また、平成30年度の試験を受験する者を対象に、平成30年夏に行われる、人事院が行う国家公務員試験の第1次試験を合格した者を対象にした「各府省合同業務説明会」へ参加する予定です。この説明会では官庁訪問や採用選考についても公務研究セミナー以上に深く掘り下げて説明を行う予定です。

人事院が主催する説明会とは別に、気象庁や東京管区気象台は独自で業務説明会を開催する予定です。職員が働いている現場を見学できる機会であると同時に、職員と個別に、もしくはグループでざっくばらんに話す機会も設ける予定です。気象庁への入庁を希望なさる方は、これらの説明会に参加していただくとより気象庁の業務や雰囲気について理解が深まると思います。



会場となった東京大学駒場キャンパス

気象庁や東京管区気象台では今後の各種業務説明会等も力を入れて取り組んでいきます。ぜひ多くのみなさまのご参加をお待ちしています！

業務説明会等の開催については、人事院や気象庁のホームページで最新の情報をご確認ください。